

ひろしま農林水産振興 ニュース

H.22.3.1
第34号

財団法人 広島市農林水産振興センター
Hiroshima City Agriculture, Forestry and Fisheries Promotion Center
〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL(082)845-4770 FAX(082)842-2149
http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/

◆個人情報に関する方針◆

皆様から提供していただいた個人情報は、当財団において適正な管理のもと財団の活動の範囲内において保存、利用いたします。

なお、個人情報の第三者への提供については、法令に基づく場合、本人の同意があった場合、その他特別の理由のある場合を除き、提供された目的以外の用途又は提供された目的を超えて第三者に提供いたしません。

いよいよ 安佐町に 活力農業経営者が誕生!

4月から、第11期生の中本和志さん、平田康高さんが、2年間の研修を修了し、安佐北区安佐町飯室で、それぞれ約30aのビニールハウス栽培により新規就農します。

これからは、地域の方の応援をいただきながら、コマツナなど軟弱野菜の専業農家として頑張っていきます。

また、第12期生の池田洋輔さん、中浦洋士さんが、同じく安佐町飯室で実地研修を開始します。

第11期生



中本さん



平田さん

第12期生



池田さん



中浦さん

もうすぐ農家一年生

昨年の4月から農家になるための研修を重ねてきた「スローライフで夢づくり」定年就農者育成事業研修生第5期生が、一年間の研修を終えて就農する日が近づいてきました。これまでに44品目の野菜・花きの栽培実習のほか、農業関係法令や鳥獣害対策などの講義を受けました。4月から市内各地で農家としてのスタートをきる第5期生に地域の皆様のご支援をよろしくお願いします。



スローライフ第5期生の皆さん

市民菜園を開園してみませんか

広島市では、市民が憩い、気軽に農作業を楽しみながら農業を理解する場として、市民菜園の開園を推進しています。今年も4月から新たに12ヶ所で開園予定です。

開園にあたっては、一定の条件を満たせば、井戸や区画割りなどの開園に必要な初期の施設整備に対し補助を受けることができます。市民菜園で農地を活用してみたい方は、最寄りの区役所農林担当課又は本財団園芸課担い手育成係までご連絡ください。

また、開園する農家の方の希望により、入園者の募集・選考、契約事務、開園後の施設管理などを本財団に委託することができます。



市民菜園開園風景

体験農園を開園してみませんか

体験農園とは、栽培指導を受けながら、農作業ができる農園で、平成21年9月に安佐北区可部町勝木に広島市第1号となる「勝木体験農園」が開園しました。

園内には、管理指導者とともに入園者が共同で野菜などを栽培する「共同体験エリア」と、1区画10㎡の区画を個人が栽培する「個人体験エリア」があり、両方のエリアとも栽培経験の少ない方でも安心して取り組めるのが特徴です。特に「共同体験エリア」では栽培に必要なタネ、肥料、農具などがすべて揃えてありますので、手ぶらで農園に来て、手軽に農作業を体験できます。

栽培指導については、本財団が育成した管理指導者が行い、入園事務などについては、本財団に委託することもできますので、体験農園の開園に興味のある方は一度お問い合わせください。



「勝木体験農園」個人体験エリア(手前)と共同体験エリア(奥)

園芸課担い手育成係 ☎845-4347

食と農の理解の促進

市民に食の大切さとそれを支える農業・農村の重要性の理解を進め、地場産の新鮮・安全・安心な農産物の消費を拡げるなど、地産地消の拡大に取り組んでいます。

食育推進授業の支援

比治山小学校ほか16校の農業体験学習を食農コーディネーターや農家の皆様と一緒に支援をしました。子どもたちは自分の手で稲や野菜を栽培することに、とても興味を持って取り組みました。

※「食農コーディネーター」：食と農の理解を進める産地見学会・試食会などを企画運営するボランティア



▲比治山小学校での田植え

産地交流会

「食農コーディネーター」の指導のもと農作物の収穫・出荷調整作業、調理体験を通して市民と地元農家の方が交流をしました。平成21年度は安佐南区沼田地区(スイートコーン)、安佐北区可部地区(サトイモ)、佐伯区湯来地区(笹木三月子大根)の3ヶ所で、「顔が見え、話ができる」市内産の野菜をPRする良い機会となりました。



▲サトイモの産地交流会

「さらなる/ひろしまそだち」の消費拡大を目指して

イベントで
「ひろしまそだち」を
PR



▲フードフェスティバルで料理を紹介

7月4日(土)の「BUYひろしま地産地消 in 旧市民球場」や、10月24日(土)～25日(日)の「ひろしまフードフェスティバル」で直売所を出店し、野菜等の販売、試食や料理方法の紹介などで「ひろしまそだち」のPRをしました。

市内公民館の
料理教室で
PR



▲安佐公民館の料理教室

安佐公民館ほか9館の料理教室で、地元農家の皆様が野菜などを紹介するとともに「ひろしまそだち」をPRしました。参加者の皆様からは「野菜のおいしい食べ方と生産者や購入場所などを知ることができてよかった。」などの意見をいただきました。

一粒カキの作り方



シングルシード(一粒)カキをご存知ですか？

通常のカキ養殖では、ホタテ貝の貝殻を海中につるし、付着した天然のカキを育てます。しかし、この方法では、カキが密集するため、貝殻の形がいびつになり、大きさがまちまちになってしまいます。

これに対して、シングルシードカキは1個ずつ一粒になるように育てます。そうすると、殻のふくらみが大きくなり、身入りがよい美味しいカキに仕上げる事ができるのです。

水産振興センターでは、今年度からシングルシー



ドカキ種苗生産の技術開発試験に取り組み、広島市では「ひろしまのひとつぶ育ち」の名称でブランド化をめざしています。

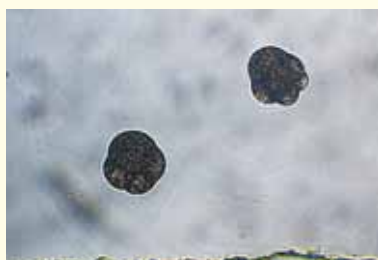
人工授精と幼生の飼育



▲親ガキから卵と精子を取り出す



▲卵と精子を混ぜ合わせる



▲カキの浮遊幼生

- ①顕微鏡で親ガキの生殖巣を観察し、雌雄を判定します。雌の生殖巣には涙滴型の卵が観察されます。
- ②雌雄の剥き身から卵と精子を取り出し、人工授精を行います。授精が成功すると幼生の発生が始まり、1晩で浮遊するようになります。この浮遊幼生を水槽で飼育します。
- ③浮遊幼生には、餌として植物プランクトンを与えます。約20日間で稚貝に変態し、付着し始めるので、付着専用の容器へ移します。容器の底にカキ殻粉末（粒径約0.2mm）を敷きます。すると、幼生はカキ殻の粒子に付着し、一粒ずつ独立した稚貝になります。
- ④引き続き植物プランクトンを与え、殻の大きさが約2mmになるまで成長させます。そして自然海水を注水した水槽に戻し、海環境に馴れさせた後、カゴに入れて海上筏から海中につるします。その後は、海中のプランクトンを食べさせ、大きくなるまで養殖して、シングルシード（一粒）カキを生産します。

市民がつくる 「四季・彩りの森」

市民の皆様には誕生や成人、結婚など人生の節目を記念する、「四季・彩りの森」として、広島市森林公園内に記念樹を植えてもらいました。平成21年度は11月15日(日)に実施し、55組180人の参加で、ヤマボウシやヤマザクラなど四季を感じることでできる森をつくりました。

記念植樹の様子



▲植え方や支柱の立て方を説明



▲記念樹(苗木)の植え付け



▲支柱や記念樹名札の設置



▲会場風景

☎ 調整課森づくり推進担当(☎845-4348)

イ ベ ン ト 情 報

花みどり公園

■食農体験一日教室

開催日：3月14日(日)「熱帯果樹の観察とコーヒーの試飲」

温室内にある熱帯果樹を観察し、その中のコーヒーの実を収穫し、焙煎したコーヒー豆を挽いて試飲します。

開催時間等：13～15時。抽選20名。材料費300円。

申し込み：3月1日(月)から

【その他行事予定】

春のシャクナゲふれあい祭り		4月～5月
はなづくり講座	春からの花づくりの基礎	4月
	春のこけ玉づくり	4月、5月
	初夏のガーデニング	6月
みどりづくり講座	よい植木の選び方と管理	4月
	しゃくなげの栽培	4月
	庭木の管理Ⅰ初夏編	6月

☎ 花みどり公園(☎837-1247)

広島市水産振興センター

■海辺の教室

開催日：3月21日(日)ワカメ養殖、塩蔵ワカメ作りなど

対象：小学校3～6年生とその保護者の方

開催時間等：13時～15時。先着30名。無料

申込み・問合せ：3月1日(月)から、電話、ファック

ス又はホームページ(<http://www.suisansc.or.jp/kyoshitu.html>)から同センターへ。定員に達し次第

締め切り。定員に満たない場合は当日参加も可。

[海辺の教室は、4月～6月の第三日曜日も開催予定です。]

☎ 水産部普及指導課(☎277-6609・Fax 278-0632)

広島市農業振興センター(農林部) ☎845-4770

〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号

花みどり公園 ☎837-1247

〒731-3362 広島市安佐北区安佐町久地2411-1

広島市水産振興センター(水産部) ☎277-6609

〒733-0833 広島市西区商工センター八丁目5番1号